

沖縄県

市町村国保の現状

(令和5年度事業実績)

令和8年1月

沖縄県保健医療介護部国民健康保険課



1 保険者数、被保険者数及び世帯数	1
・表1 令和5年度末現在の保険者の状況	
・図1 加入世帯数及び被保険者数の推移（平成26年度～令和5年度）	
・図2 保険者規模別構成割合（令和5年度・都道府県別）	
2 被保険者の年齢構成	3
・図3 被保険者の年齢構成の推移（平成26年度～令和5年度・沖縄県）	
・図4 被保険者の年齢構成（令和5年度・都道府県別）	
・図5 被保険者の年齢構成（令和5年度・県内市町村別）	
・図6 20歳未満（0～19歳）割合の推移（平成26年度～令和5年度）	
・図7 20歳未満（0～19歳）の割合（令和5年度・都道府県別）	
・図8 20歳未満（0～19歳）の割合（令和5年度・県内市町村別）	
・図9 前期高齢割合の推移（平成26年度～令和5年度）	
・図10 前期高齢者の割合（令和5年度・都道府県別）	
・図11 前期高齢者の割合（令和5年度・県内市町村別）	
3 一人当たりの課税標準額	7
・図12 一人当たりの課税標準額の推移（平成26年度～令和5年度）	
・図13 一人当たりの課税標準額（令和5年度・都道府県別）	
・図14 一人当たりの課税標準額（令和5年度・県内市町村別）	
4 世帯の所得階層別割合	9
・図15 世帯の所得階層別割合（令和5年度）	
5 一人当たり医療費	10
・図16 一人当たり医療費と医療費総額の推移（平成26年度～令和5年度）	
・図17 一人当たり医療費（令和5年度・都道府県別）	
・図18 一人当たり医療費（令和5年度・県内市町村別）	
・図19 年齢階級別一人当たり医療費（令和5年度）	
・図20 医療費の地域差指数（令和5年度・都道府県別）	
・図21 医療費の地域差指数（令和5年度・県内市町村別）	
6 一人当たり保険料（税）調定額	15
・図22 一人当たり保険料（税）調定額の推移（平成26年度～令和5年度）	
・図23 一人当たり保険料（税）調定額（令和5年度・都道府県別）	
・図24 一人当たり保険料（税）調定額（令和5年度・県内市町村別）	
7 一人当たり保険料（税）負担率	17
・図25 一人当たり保険料（税）負担率の推移（平成26年度～令和5年度）	
・図26 一人当たり保険料（税）負担率（令和5年度・都道府県別）	
・図27 一人当たり保険料（税）負担率（令和5年度・県内市町村別）	
8 保険料（税）収納率	19
・図28 保険料（税）収納率と未収額の推移（平成26年度～令和5年度・現年度分）	
・図29 保険料（税）収納率の推移（令和3～5年度・県内市町村別・現年度分）	
・図30 保険料（税）収納率（令和5年度・都道府県別・現年度分）	
・図31 保険料（税）収納率（令和5年度・県内市町村別・現年度分）	

・ 図32	保険料（税）収納率（令和5年度・都道府県別・滞納繰越分）	
・ 図33	保険料（税）収納率（令和5年度・県内市町村別・滞納繰越分）	
・ 図34	保険料（税）収納率（令和5年度・都道府県別・合計）	
・ 図35	保険料（税）収納率（令和5年度・県内市町村別・合計）	
9	経理状況（収入項目別内訳）	24
9-1	収支の内訳	
・ 図36	市町村特別会計における収支の内訳（令和5年度）	
・ 図37	都道府県特別会計における収支の内訳（令和5年度）	
9-2	市町村特別会計の収入項目別内訳	
・ 図38	市町村特別会計における収入項目別内訳（令和5年度）	
・ 図39	市町村特別会計における収入項目別内訳（令和5年度・都道府県別）	
・ 図40	市町村特別会計における収入項目別内訳（令和5年度・県内市町村別）	
9-3	都道府県特別会計の収入項目別内訳	
・ 図41	都道府県特別会計における収入項目別内訳（令和5年度）	
・ 図42	都道府県特別会計における収入項目別内訳（令和5年度・都道府県別）	
10	法定外繰入・前年度繰上充用の状況	30
10-1	法定外繰入の状況	
・ 図43	一人当たり法定外繰入金の推移（平成26年度～令和5年度）	
・ 図44	一人当たり法定外繰入金の状況（令和3～5年度・都道府県別）	
・ 図45	一人当たり法定外繰入金の状況（令和3～5年度・県内市町村別）	
10-2	前年度繰上充用の状況	
・ 図46	一人当たり前年度繰上充用金の推移（平成26年度～令和5年度）	
・ 図47	一人当たり前年度繰上充用金の状況（令和3～5年度・都道府県別）	
・ 図48	一人当たり前年度繰上充用金の状況（令和3～5年度・県内市町村別）	
11	特定健康診査受診率・特定保健指導実施率	35
11-1	特定健康診査受診率	
・ 図49	特定健康診査受診率の推移（平成26年度～令和5年度）	
・ 図50	特定健康診査受診率（令和5年度・都道府県別）	
・ 図51	特定健康診査受診率（令和5年度・県内市町村別）	
11-2	特定保健指導実施率	
・ 図52	特定保健指導実施率の推移（平成26年度～令和5年度）	
・ 図53	特定保健指導実施率（令和5年度・都道府県別）	
・ 図54	特定保健指導実施率（令和5年度・県内市町村別）	
12	保険者事務の共同実施・共同事業	39
・ 表2	国保連合会による保険者事務の共同実施・共同事業	
13	まとめ	40

1

保険者数、被保険者数及び世帯数

- 本県の令和5年度末現在の国保加入者は23万世帯、被保険者数は36.7万人となっており、被保険者数は減少傾向にある。（図1）
- 本県は、全国に比べ小規模保険者（被保険者3,000人未満）の割合が高く、被保険者1,000人未満の保険者の割合は、全国6番目に高い。（図2）

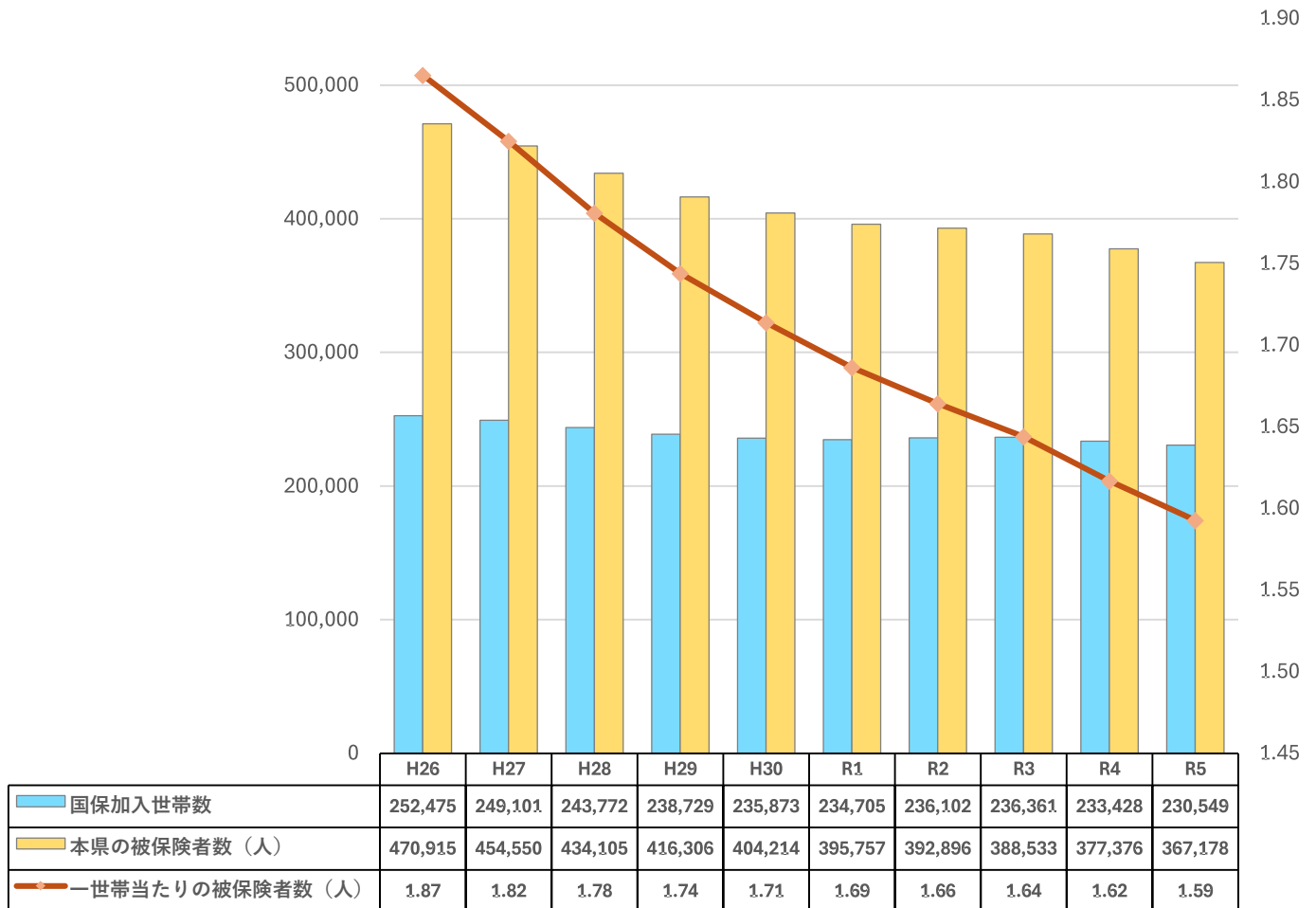
表1 令和5年度末現在の保険者の状況

保険者数	41市町村		
加入世帯数	230,549世帯（令和5年度末：前年度比－2,879世帯、1.2%減）		
被保険者数	367,178人（令和5年度末：前年度比－10,198人、2.7%減）		
小規模保険者の割合	全国：1,716保険者中	3,000人未満の保険者	607（35.4%）
		1,000人未満の保険者	211（12.3%）
	本県：41保険者中	3,000人未満の保険者	17（41.5%）
		1,000人未満の保険者	11（26.8%）

※被保険者1,000人未満の保険

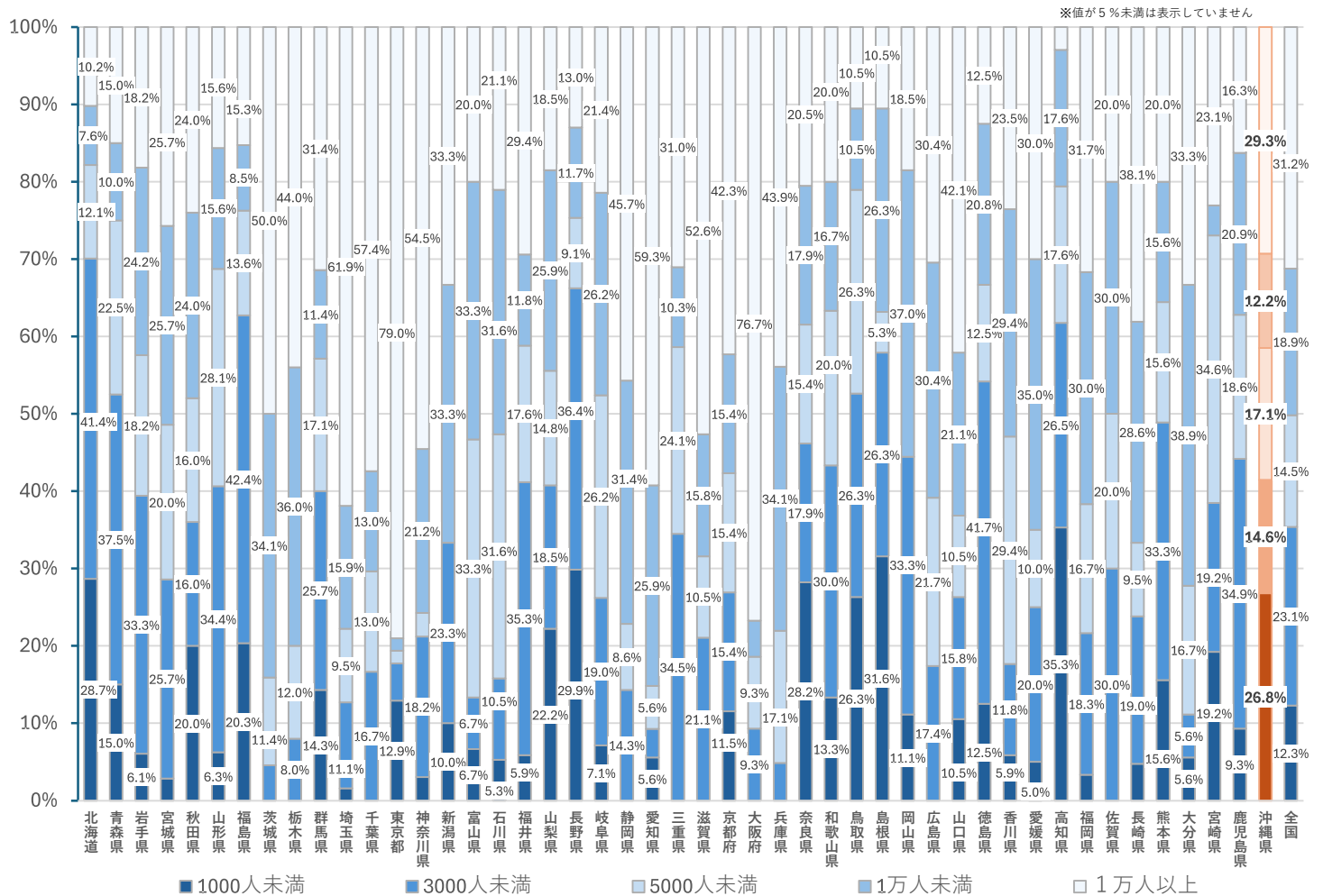
東村、与那国町、座間味村、伊平屋村、南大東村、伊是名村、多良間村、渡嘉敷村、粟国村、北大東村、渡名喜村

図1 加入世帯数及び被保険者数の推移（平成26年度～令和5年度）



出所：厚生労働省保険局「国民健康保険事業年報」各年度

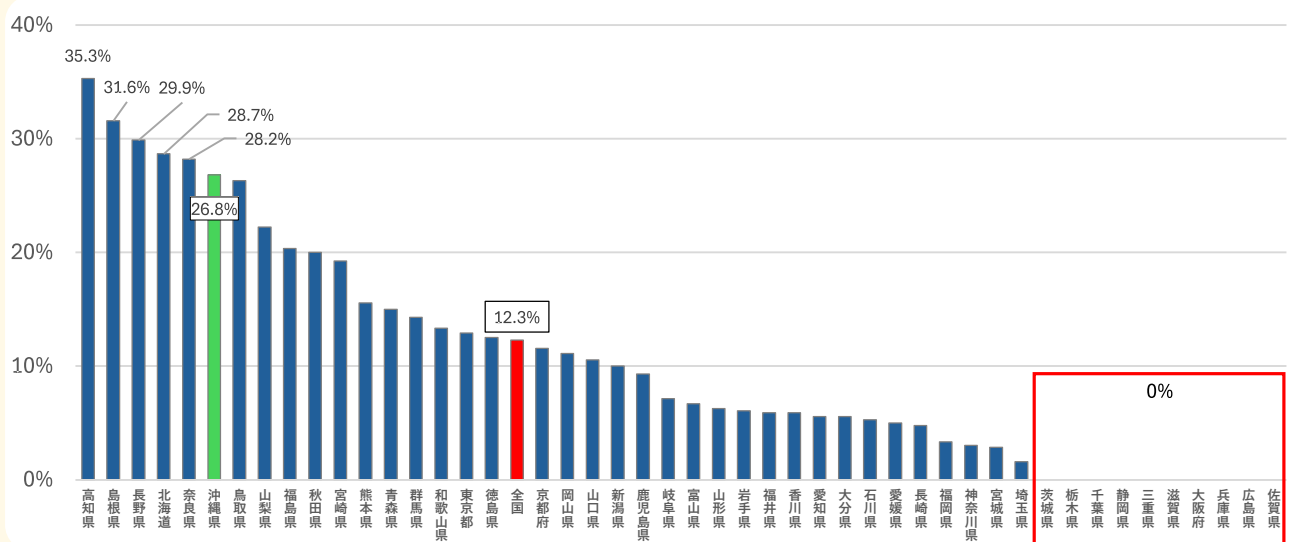
保険者規模別構成割合（令和5年度・都道府県別）



出所：厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」

- 被保険者3,000人未満の保険者の割合は、本県は41.5%（41保険者中17保険者）と全国35.4%（1,716保険者中607保険者）より6.1ポイント高い。
- 被保険者1,000人未満の保険者の割合は、高知県（35.3%）、島根県（31.6%）、長野県29.9%）、北海道（28.7%）、奈良県（28.2%）について、本県（26.8%）は6番目に高い。

（図2参考） 被保険者1,000人未満の保険者の場合（都道府県別）

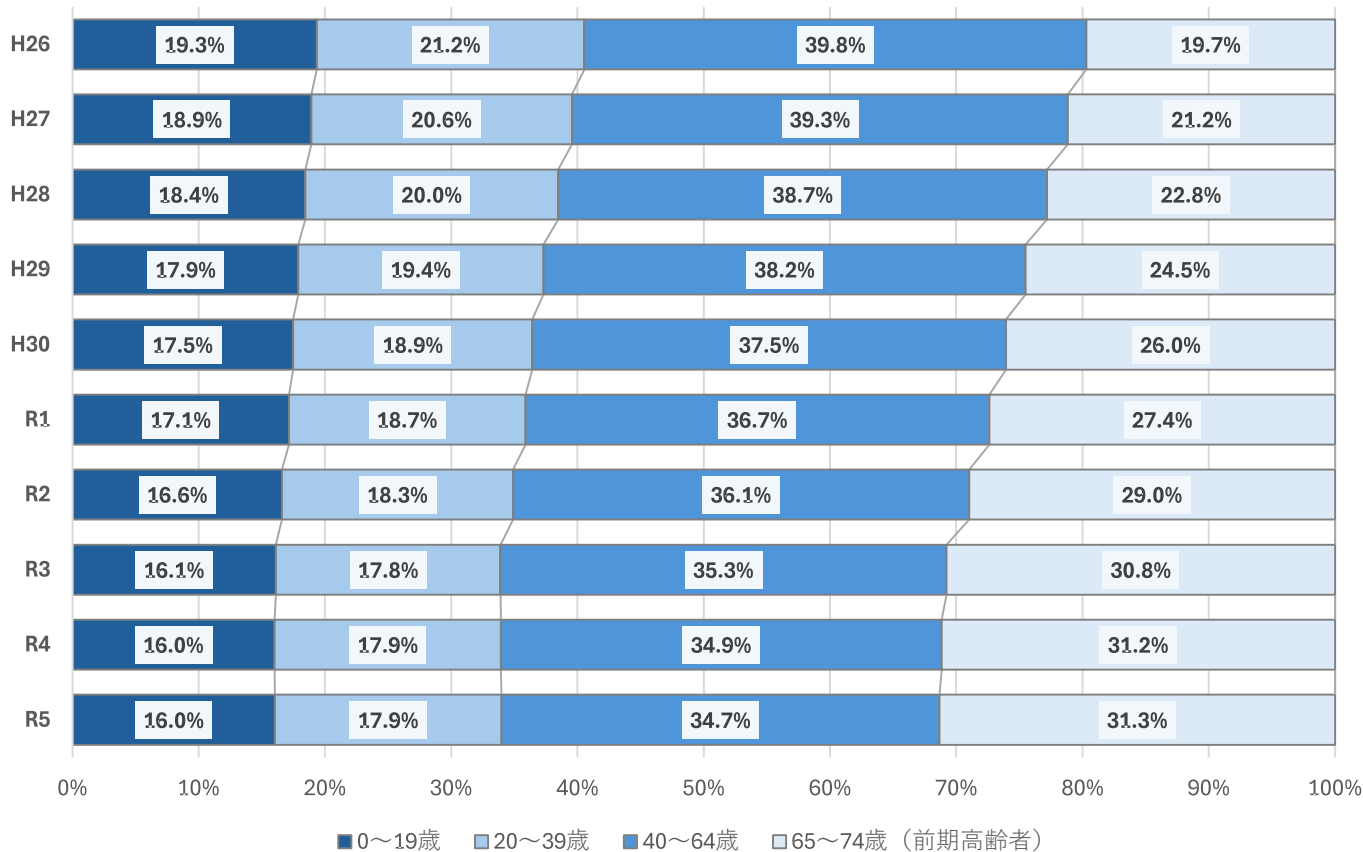


2 被保険者の年齢構成

- 令和5年度における被保険者の年齢構成の割合は、
 全国:0～19歳 8.6% 20～39歳 14.9% 40～64歳 32.5% 65～74歳 44.0%
 本県:0～19歳 16.0% 20～39歳 17.9% 40～64歳 34.7% 65～74歳 31.3%
 となっている。(図4)
- 本県は、0～19歳(20歳未満)の割合が全国で最も高い一方、65～74歳(前期高齢者)の割合は全国で最も低い。(図7、図10)
- 市町村別でみると、0～19歳(20歳未満)の割合は竹富町(21.0%)が最も高く、渡名喜村(5.0%)が最も低い。(図8)
 65～74歳(前期高齢者)の割合は伊是名村(48.1%)が最も高く、座間味村(21.2%)が最も低い。(図11)

図3

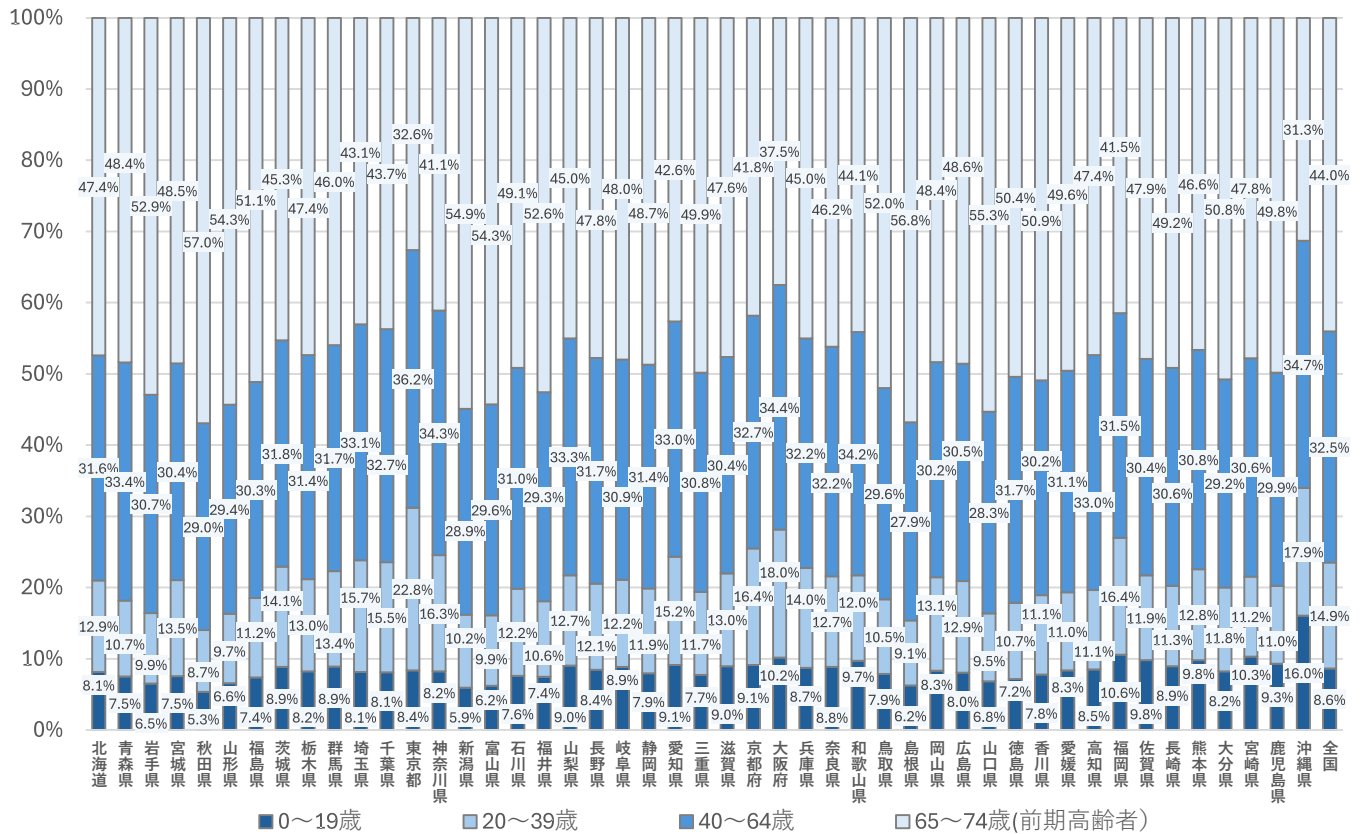
被保険者の年齢構成の推移(平成26年度～令和5年度・沖縄県)



出所：厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」

図4

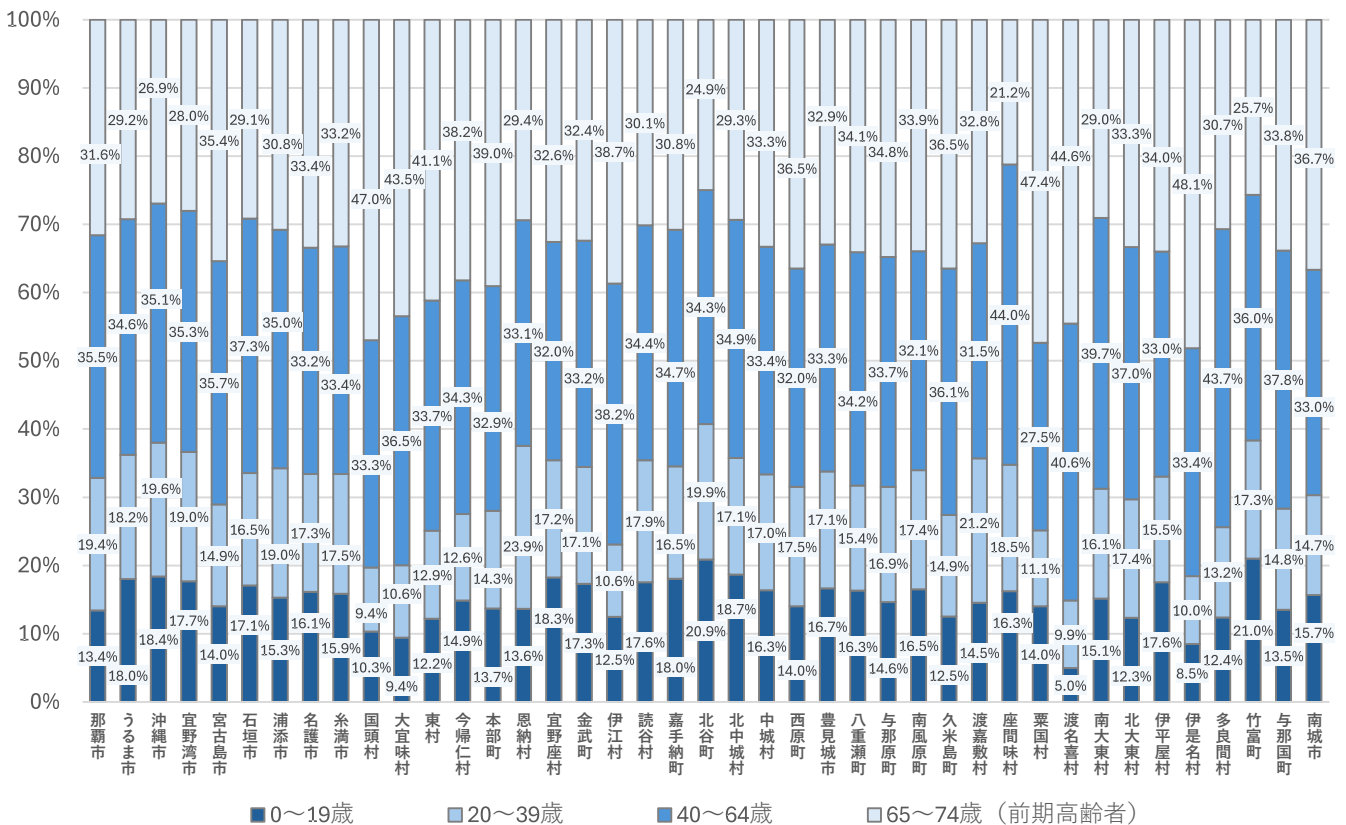
被保険者の年齢構成（令和5年度・都道府県別）



出所：厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」

図5

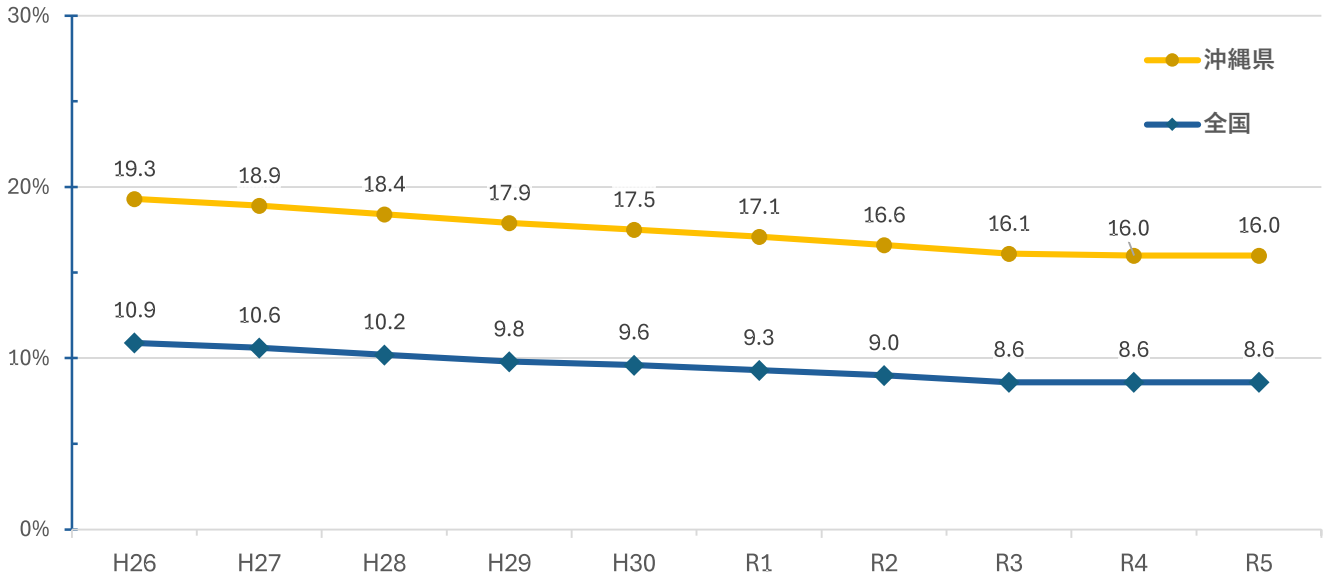
被保険者の年齢構成（令和5年度・県内市町村別）



出所：厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」

図6

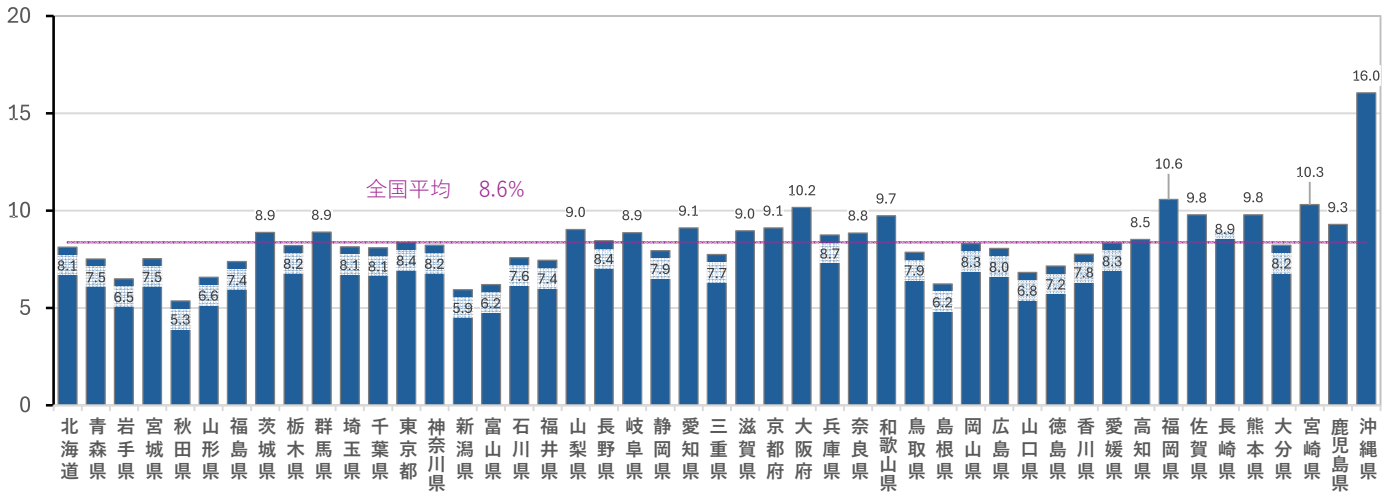
20歳未満（0～19歳）割合の推移（平成26年度～令和5年度）



出所：厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」各年度

図7

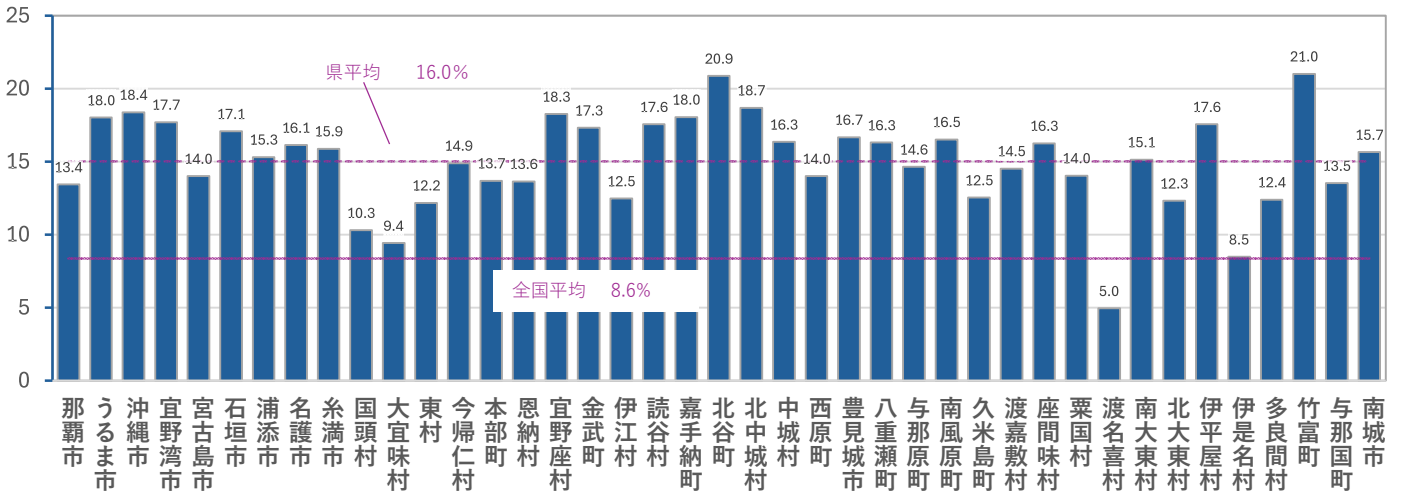
20歳未満（0～19歳）の割合（令和5年度・都道府県別）



出所：厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」

図8

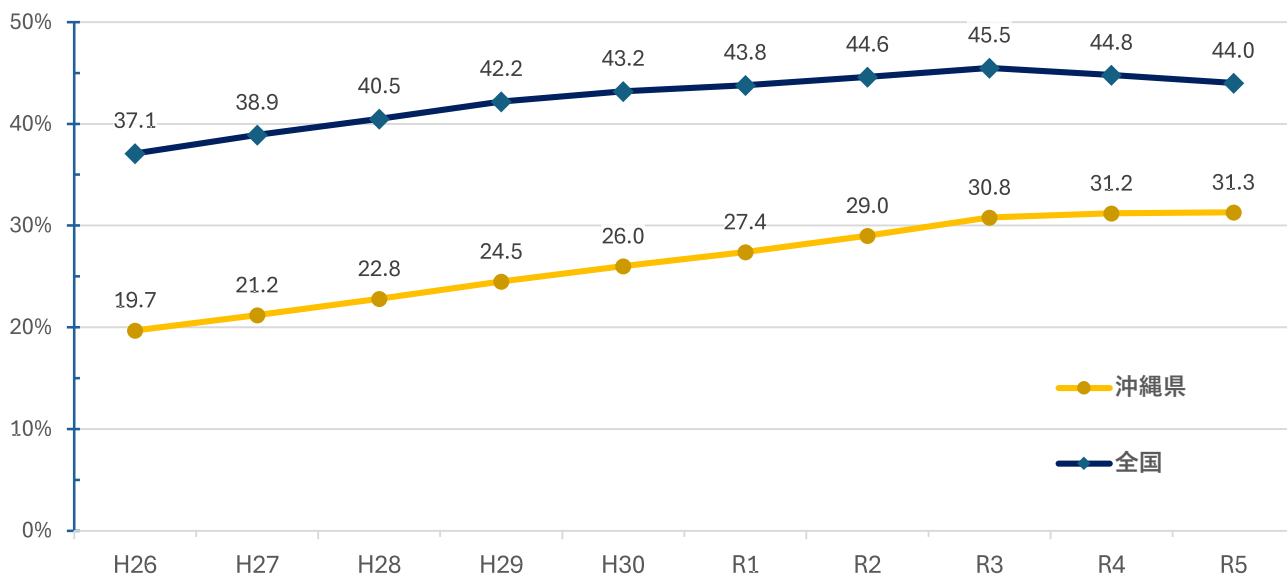
20歳未満（0～19歳）の割合（令和5年度・県内市町村別）



出所：厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」

図9

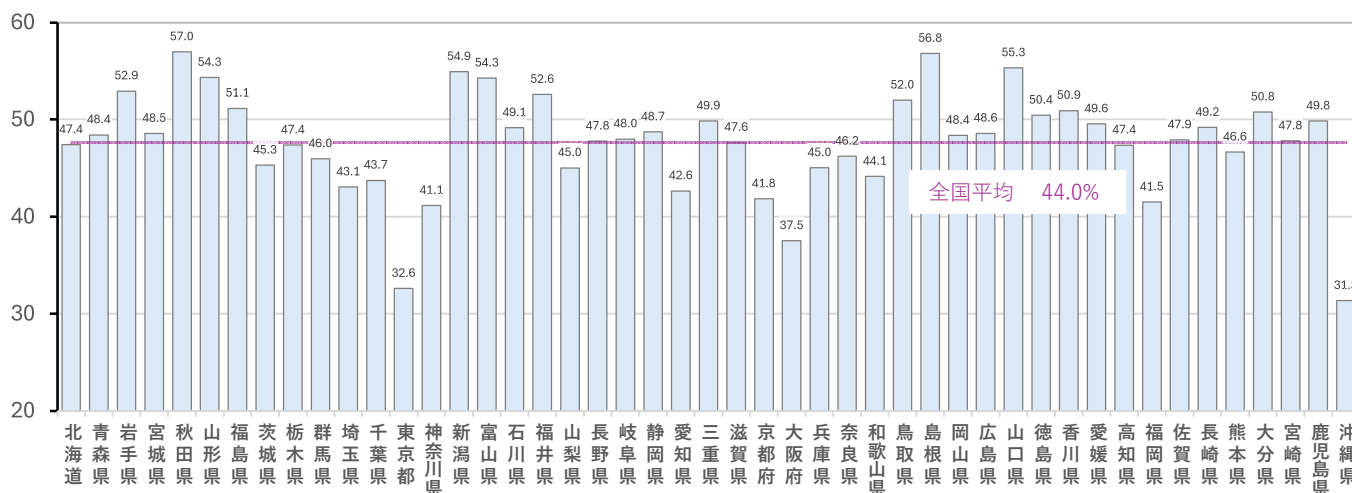
前期高齢者割合の推移（平成26年度～令和5年度）



出所：厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」各年度

図10

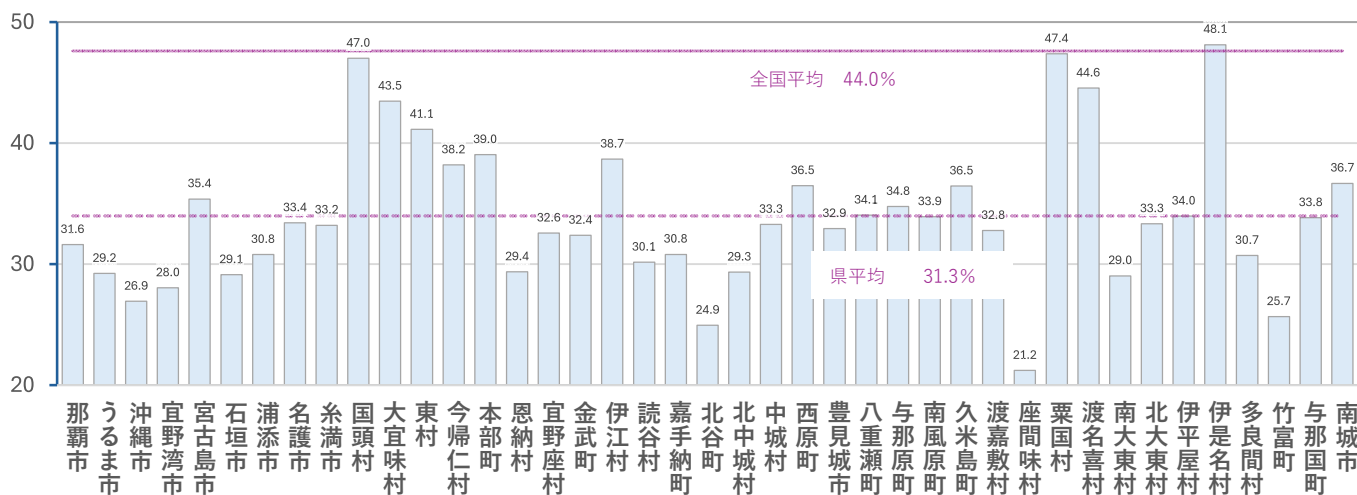
前期高齢者の割合（令和5年度・都道府県別）



出所：厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」

図11

前期高齢者の割合（令和5年度・県内市町村別）



出所：厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」

3

一人当たり課税標準額

- 令和5年度の一人当たり課税標準額（旧ただし書所得）は、全国：712,520円
本県：524,418円（全国第37位）となっている（図13）
- 市町村別でみると、北大東村（1,183千円）が最も高く、最も低い伊平屋村（309千円）との格差は約3.8倍となっている（図14）

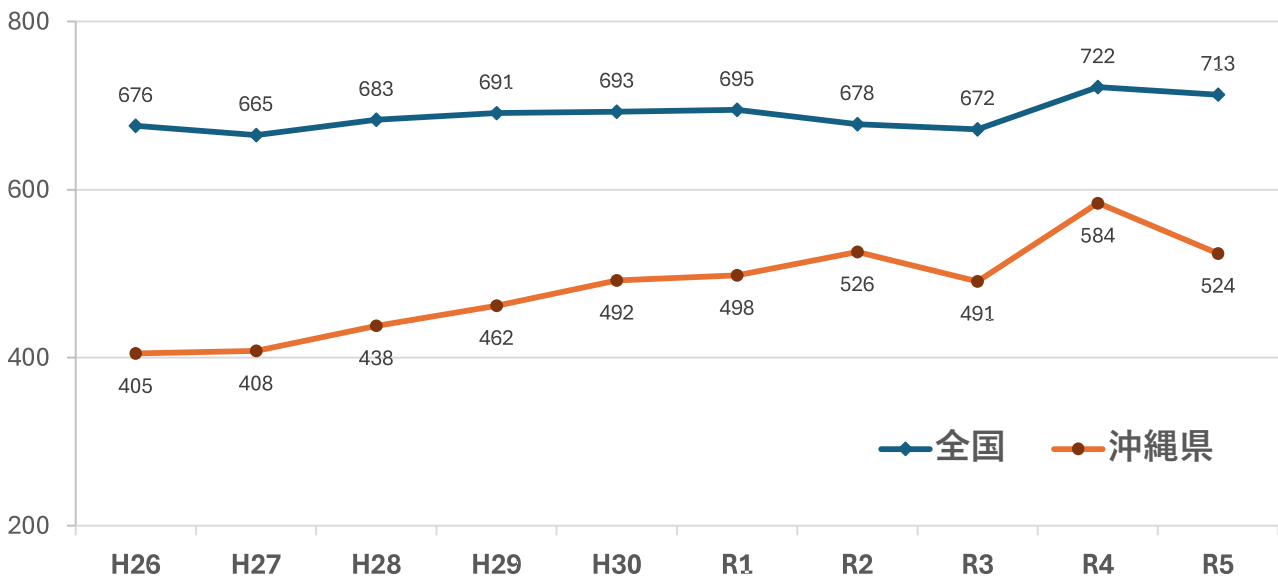
※ 課税標準額とは、総所得金額等から基礎控除分を除いた額で、いわゆる旧ただし書所得をいう。

※ 一人当たり課税標準額 = 課税標準額 / 被保険者総数

図12

一人当たり課税標準額の推移（平成26年度～令和5年度）

（単位：千円）



出所：厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」

（図12参考）各年度における全国と本県の一人当たり課税標準額

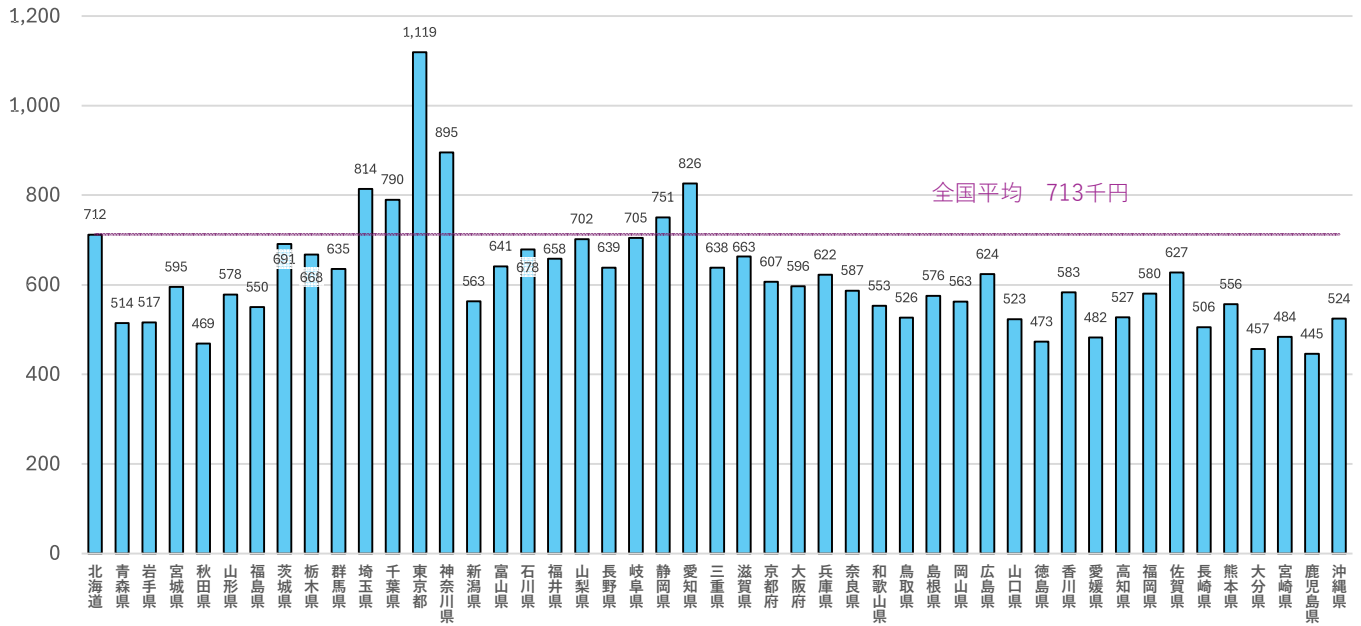
（単位：千円）

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全国	676	665	683	691	693	695	678	672	722	713
沖縄県	405	408	438	462	492	498	526	491	584	524
差引	271	257	245	229	201	197	152	181	138	189

➤ 本県の課税標準額は全国より低いものの、その差は縮小傾向にある。

図13

一人当たり課税標準額（令和5年度・都道府県別）

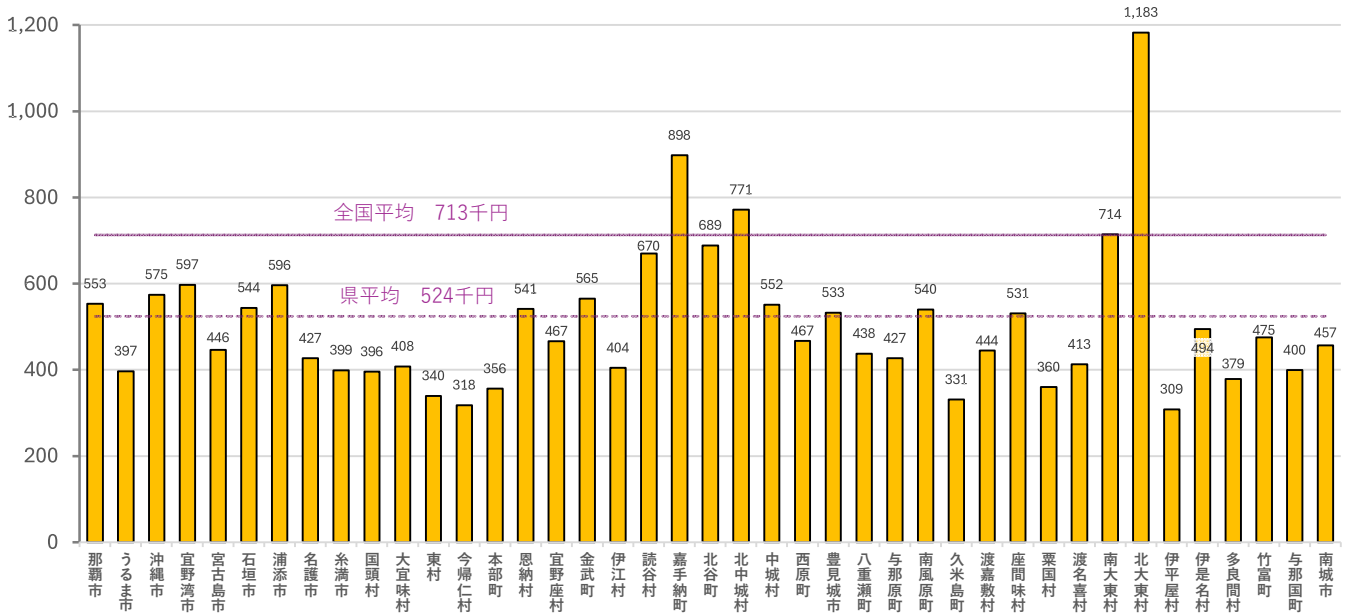


出所：厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」

- ▶ 都道府県別で見ると、東京都（1,119千円）が最も高く、最も低い鹿児島県（445千円）との差は約2.5倍となっている。
- ▶ 本県（524千円）は全国第37位となっており、全国平均（713千円）より約189千円低い。

図14

一人当たり課税標準額（令和5年度・県内市町村別）



出所：厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」

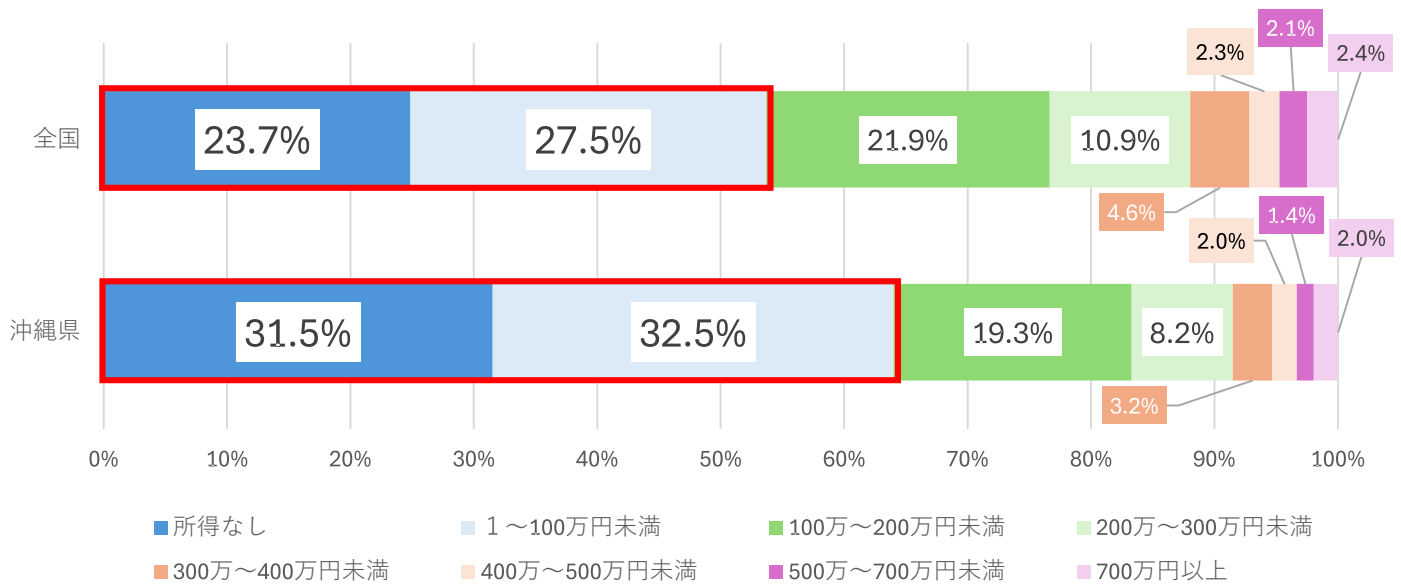
- ▶ 市町村別で見ると、北大東村（1,183千円）が最も高く、次いで嘉手納町（898千円）、北中城村（771千円）の順となっている。

4

世帯の所得階層別割合

- 令和5年度における「所得なしの世帯」及び「1～100万円未満世帯」の全体に占める割合は、全国：51.2% 本県：64.0% となっており、本県は低所得世帯の占める割合が高い。(図15)

図15 世帯の所得階層別割合（令和5年度）



出所：厚生労働省「国民健康保険実態調査報告」より沖縄県作成

- ※ 擬制世帯、所得不詳世帯を除いて集計している。
- ※ ここでいう所得とは、「旧ただし書き方式」により算定された所得総額（基礎控除前）である。
- ※ 「所得なし」世帯の収入は、給与収入世帯で65万円以下、年金収入世帯で120万円以下。

5

一人当たり医療費

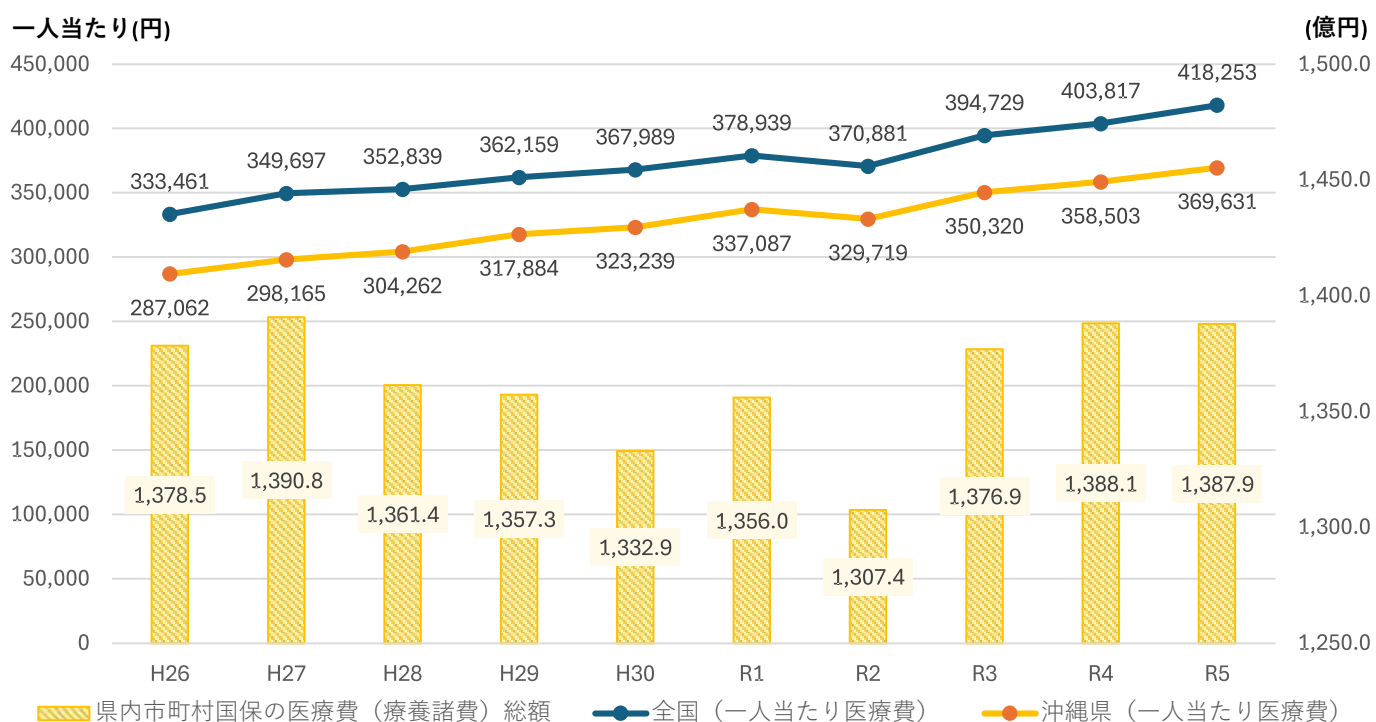
- 令和5年度の一人当たり医療費は、全国の418,253円に対し、本県は369,631円（全国第46位）となっており、全国と比較し低い水準にある。（図16、図17）
- 市町村別で見ると、与那国町（490,874円）が最も高く、竹富町（246,461円）が最も低い。一般的に、年齢構成の高い市町村は一人当たり医療費が高くなる傾向にある。（図18）
- 本県の一人当たり医療費は全国を下回っているが、（図16）、年齢階級別の医療費を全国と比較すると、65～74歳（前期高齢者）は全国を上回っている。（図19）
- 人口の年齢構成の相違分を補正し、全国平均を1として指数化した地域差指数（都道府県別・直接法）で見ると、本県の地域差指数は1.030と全国を上回っている。（図20）
- 地域差指数（県内市町村別・間接法）で見ると、県内では、与那国町(1.282)が最も高く、竹富町(0.708)が最も低い。（図21）

（注）直接法：当該都道府県の年齢階級別の医療費を基礎とし、当該団体の年齢構成を全国平均の年齢構成に置き換えた場合の医療費との比較

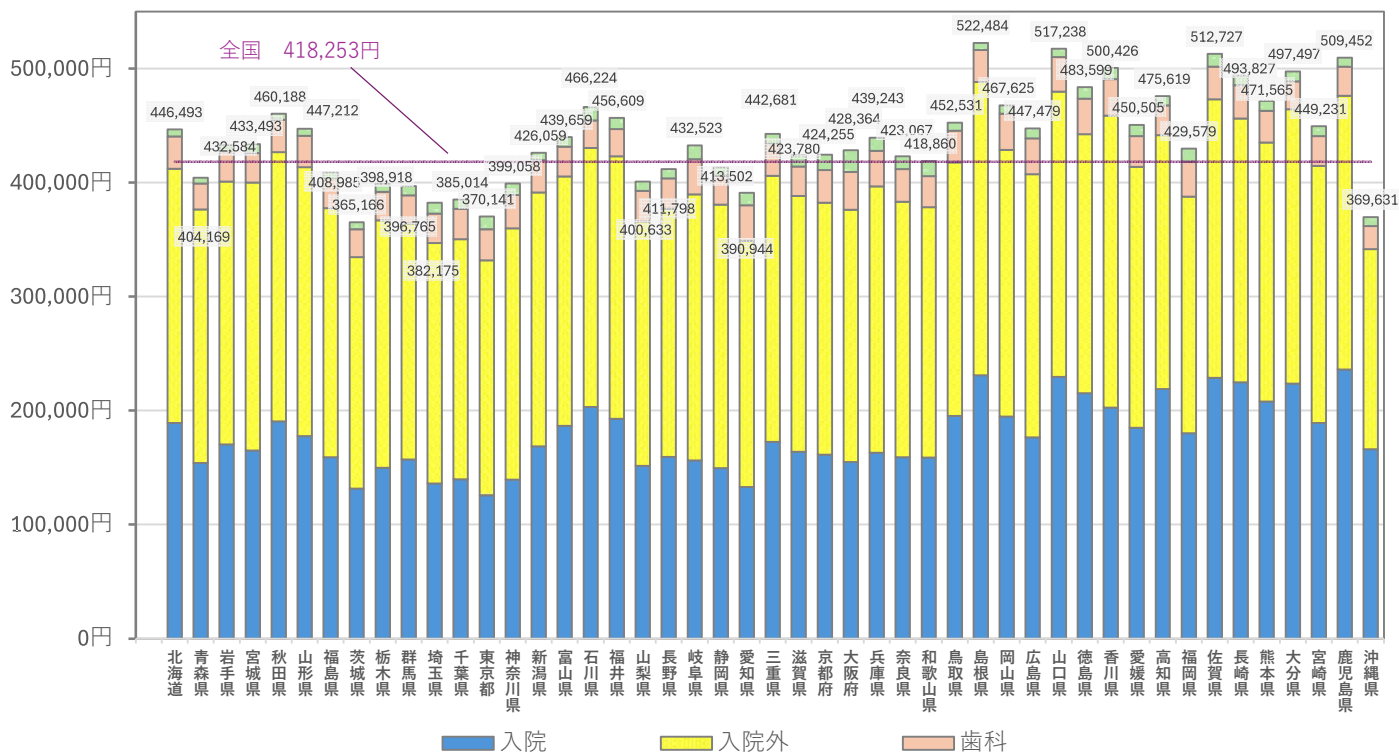
間接法：当該市町村の年齢構成を基礎とし、年齢階級別の全国平均医療費に置き換えた場合の医療費との比較

図16

一人当たり医療費と医療費総額の推移（平成26年度～令和5年度）



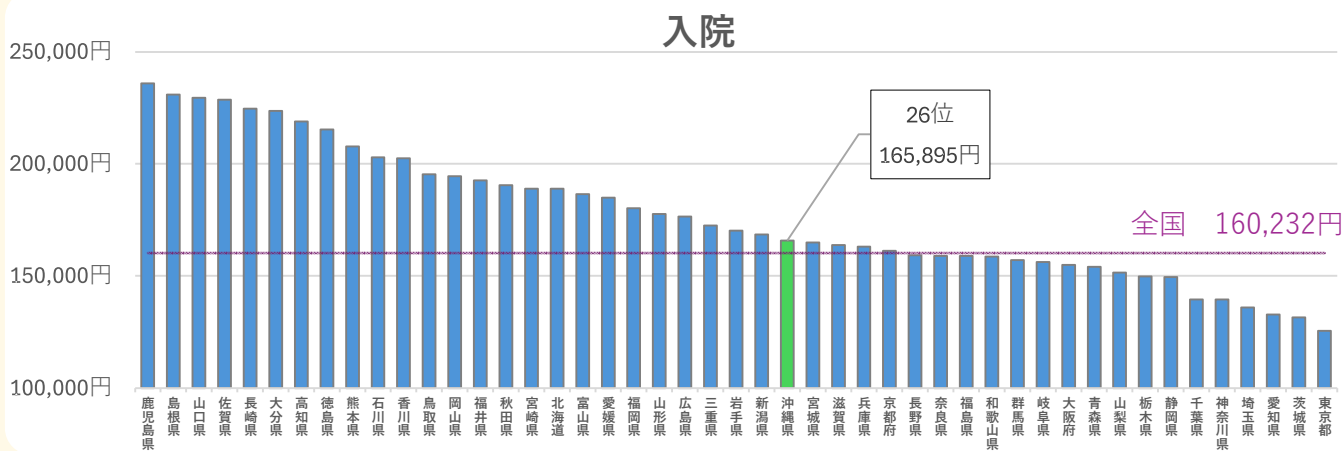
出所：厚生労働省保険局「国民健康保険事業年報 第14表」各年度



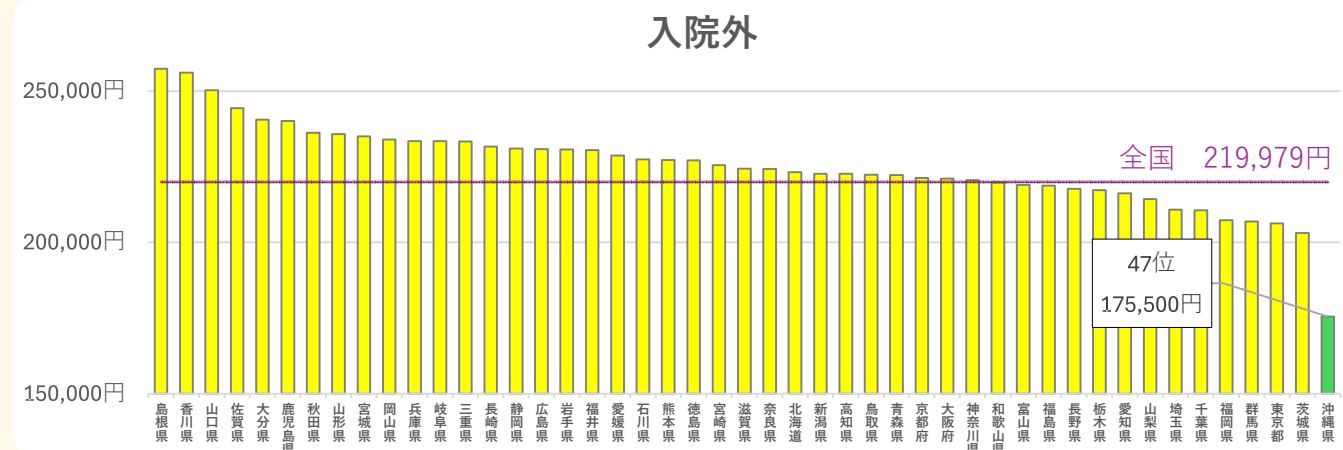
出所：厚生労働省保険局「国民健康保険事業年報 第14表」



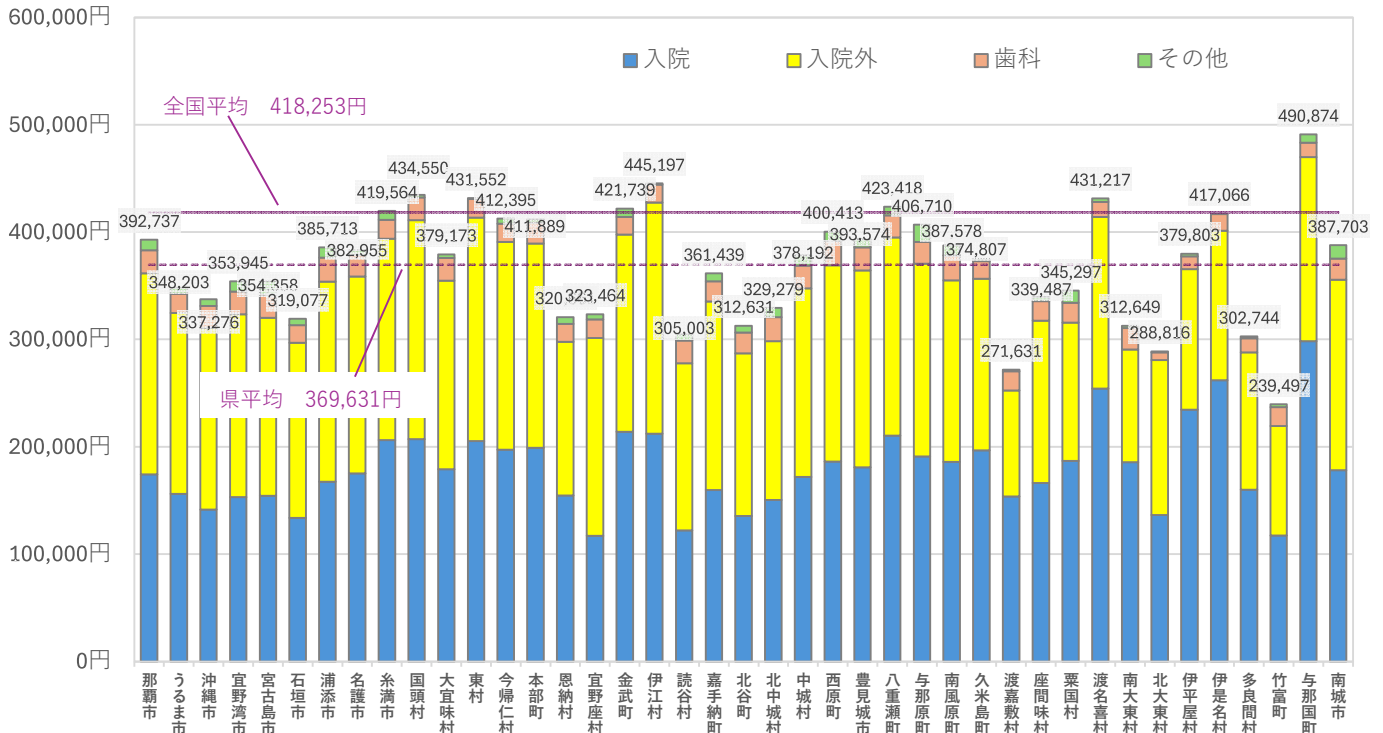
(図17参考) 一人当たり入院医療費と入院外医療費（令和5年度）



➤ 本県市町村国保の一人当たり入院医療費は165,895円で、全国160,232円より高い。



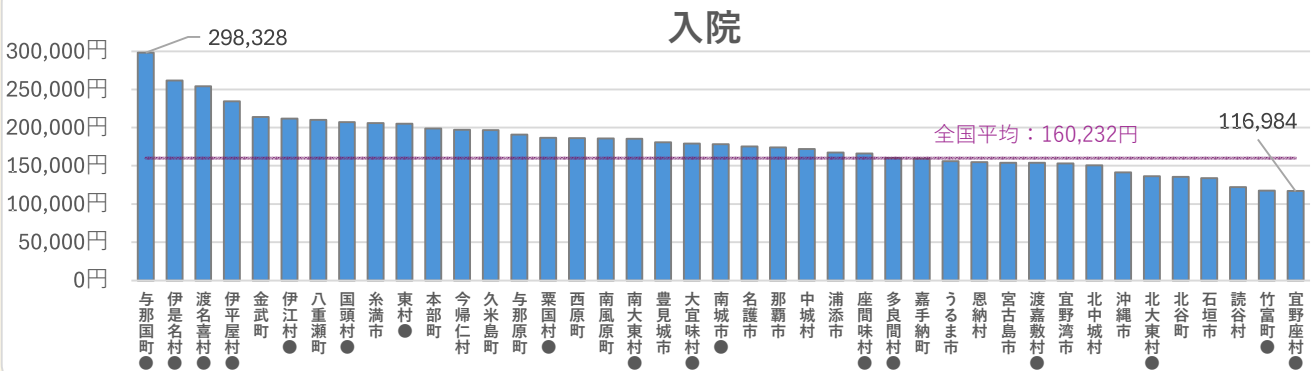
➤ 本県市町村国保の一人当たり入院外医療費は175,500円で、全国(219,979円)より低い。



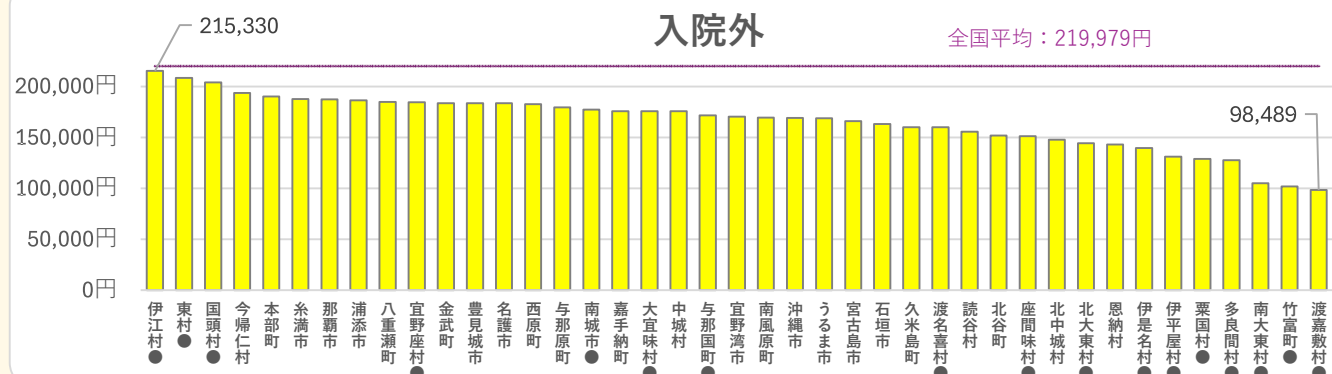
出所：「国民健康保険事業年報」報告により沖縄県作成



(図18参考) 一人当たり入院医療費と入院外医療費（令和5年度）



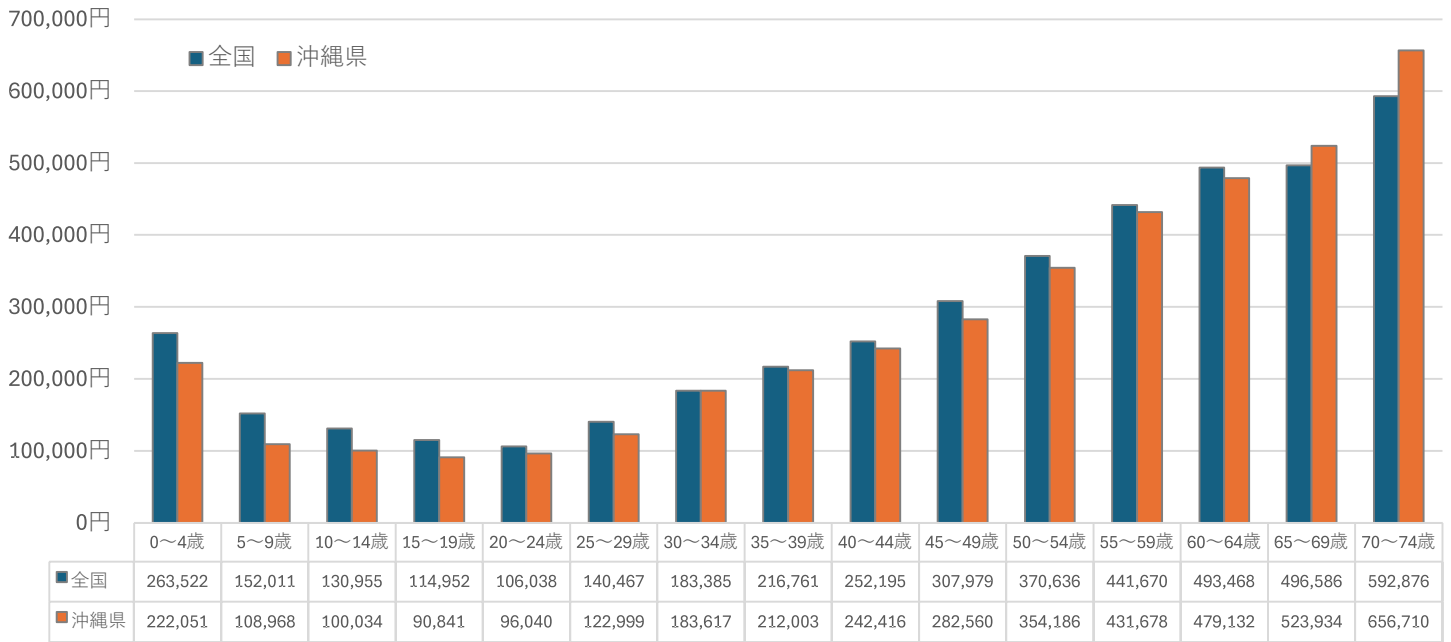
市町村別で見ると、与那国町(298,328円)が最も高く、最も低い宜野座村(116,984円)との格差は約2.6倍となっている。 ●は小規模保険者（被保険者数3,000人未満）



市町村別で見ると、伊江村(215,330円)が最も高く、最も低い渡嘉敷村(98,489円)との格差は約2.2倍となっている。 ●は小規模保険者（被保険者数3,000人未満）

図19

年齢階層別一人当たり医療費（令和5年度）



出所：厚生労働省保険局「医療給付実態調査報告」及び「国民健康保険実態調査報告」により沖縄県作成



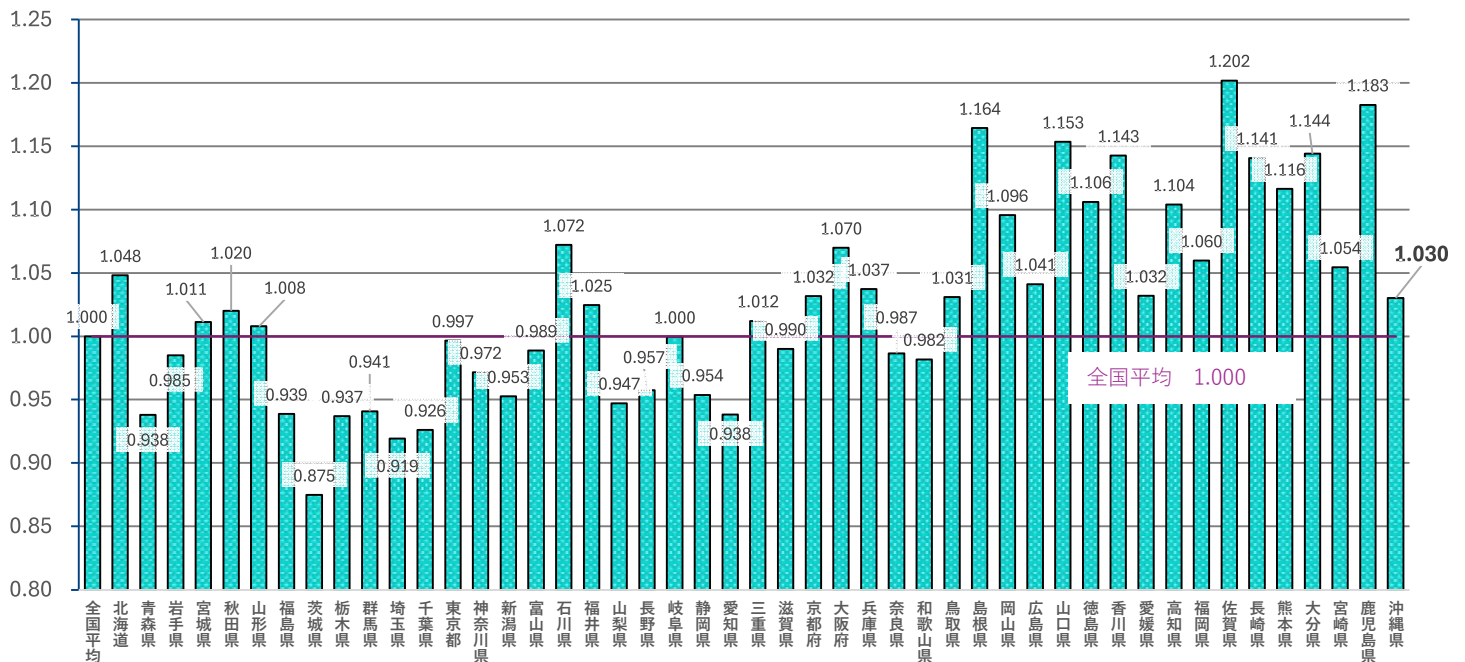
（図19参考） 各年齢階級における全国平均と沖縄県の一人当たり医療費の差 ※端数処理の関係で一致しない数字がある。

年齢階級（歳）	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74
沖縄-全国（円）	-41,471	-43,043	-30,921	-24,111	-9,998	-17,468	232	-4,758	-9,779	-25,419	-16,450	-9,992	-14,336	27,348	63,834

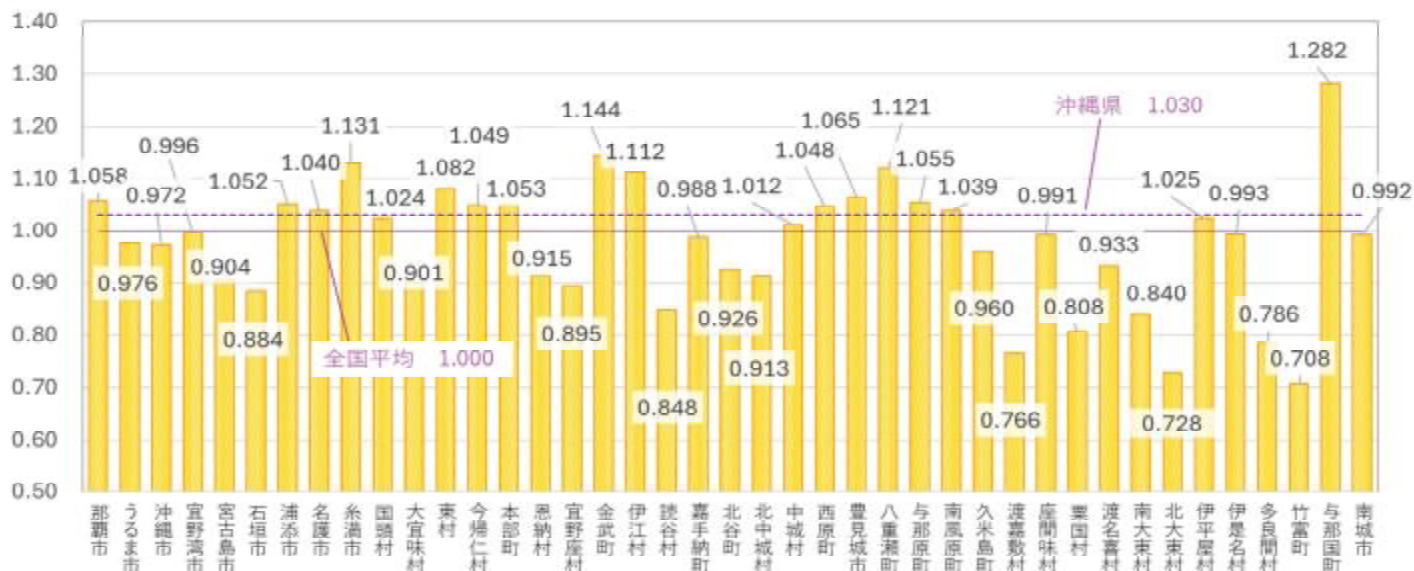
➤ 全国と本県の65~74歳（前期高齢者）における年齢階級別一人当たり医療費の差は大きい。

図20

医療費の地域差指数（令和5年度・都道府県別）



出所：厚生労働省保険局「令和5年度（2023年度）医療費の地域差分析」



出所：厚生労働省保険局「令和5年度（2023年度）医療費の地域差分析」

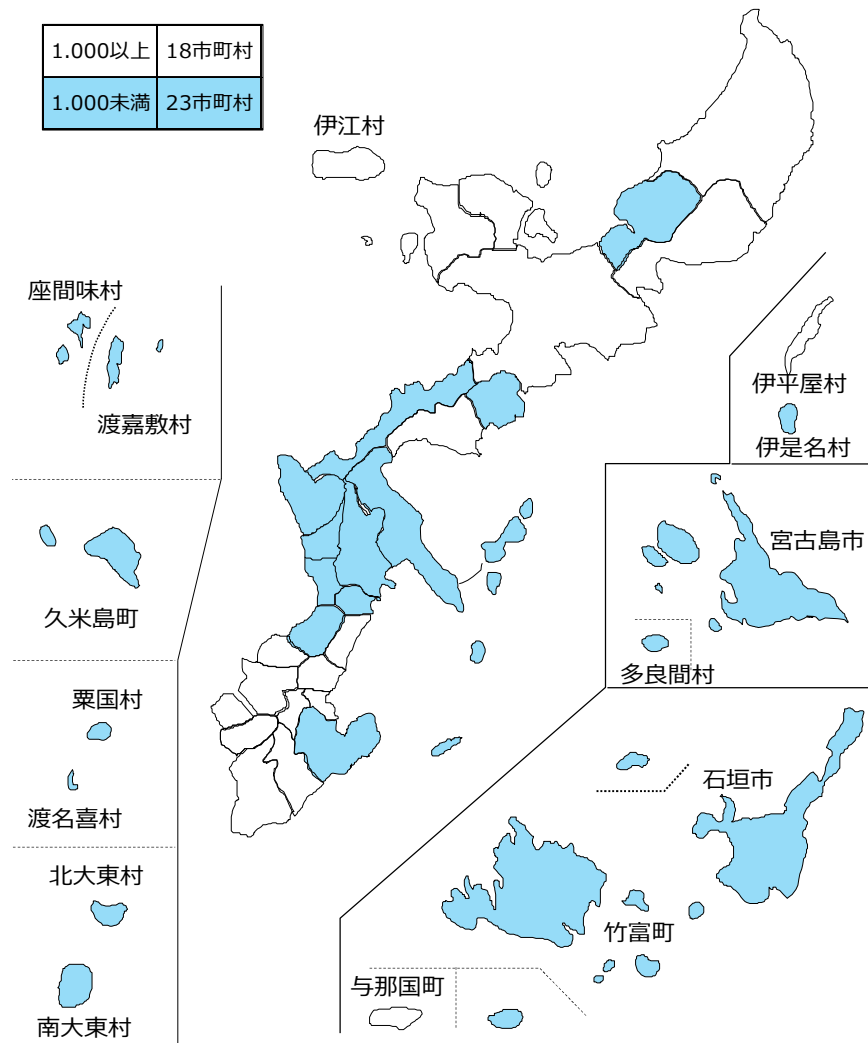
- 市町村別で見ると、与那国町(1.282)が最も高く、次いで金武町(1.144)、糸満市(1.131)となっている、一方、指数の低い市町村は竹富町(0.708)、次いで北大東村(0.728)、渡嘉敷村(0.766)となっている。

▽地域差指数の低い市町村

	保険者	地域差指数
1	東京都 利島村	0.581
2	北海道 黒松内町	0.593
3	北海道 中川町	0.642
4	群馬県 長野原町	0.688
5	北海道 占冠村	0.688
6	長野県 泰阜村	0.700
7	沖縄県 竹富町	0.708
8	福島県 湯川村	0.709
9	長野県 南相木村	0.715
10	沖縄県 北大東村	0.728

△地域差指数の高い市町村

	保険者	地域差指数
1	北海道 積丹町	1.518
2	島根県 美郷町	1.489
3	鳥取県 江府町	1.458
4	熊本県 芦北町	1.439
5	北海道 真狩村	1.435
6	鹿児島県 いちき串木野市	1.372
7	高知県 大豊町	1.368
8	北海道 雨竜町	1.359
9	佐賀県 大町町	1.358
10	島根県 江津市	1.355



※厚生労働省「医療費の地域差分析」をもとに沖縄県作成